

横浜ジェントルタウン通信 第2号

協賛：Asahiアサヒビール芸術文化財団

内容

- ジェントルからのお知らせ
- 横浜ジェントルタウン倶楽部会員募集
- おでかけアート展報告
- ぬくもりピンゴラリー報告
- 製品開発の講習会の報告
- コラボレーションフォーラム横浜2004
- 会員紹介コーナー

♪♪ジェントルからのお知らせ♪♪

☆関内触知図

横浜市協働事業提案制度モデル事業に応募し、平成17年度に横浜市と協働で関内触知図を新たに作成することになりました。現在ある関内触知図は『全国の街歩きマップコンテスト』で国土交通大臣賞を頂きました。コンセプトは視覚障がい者、車いす障がい者、健常者、すべての人が一枚の地図を利用し、コミュニケーションをとることができる地図です。関内触知図をさらに利用しやすくするため、協働事業で検討・作成を行っていきます。作成過程を少しずつお知らせしていきたいと思っております。



☆横浜ジェントルタウン

倶楽部PRチラシ

チラシが完成しました。ジェントルカラーの淡いピンク（やさしさ）と淡いブルー（横浜）を交差させ、中川憲造先生がデザインしてくださいました。お人形がとってもかわいいチラシですので、ぜひ一度手にとって見てくださいな。

☆ウェブサイト

ウェブサイトのデザインもジェントルカラーと人形を使ったページになる予定です。今後はお知らせなど充実させていく予定ですので、アクセスしてみてください。

<http://www.yokohama-gentle.jp/>

☆☆横浜ジェントルタウン倶楽部会員募集☆☆

横浜ジェントルタウン倶楽部では随時、会員の方を募集しています。個人、商店、企業など、どなたでもご参加できます。個人会員の方なら情報交換やイベントへのご招待などの特典があります。賛助会員の方には情報提供やクレジットの掲載（HP・情報誌）などがあります。定例会を月に一度行っています。どなたでも参加できますので参加してみようと思う方はぜひ、下記までご連絡ください。

発行：横浜ジェントルタウン倶楽部、編集：稲坂知恵
 連絡先：E-mail info@yokohama-gentle.jp HP <http://www.yokohama-gentle.jp/>
 伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合 中村徹 TEL: 045-261-7535
 FAX: 045-261-7647
 〒231-0046 横浜市中区末広町2-6-10
 有限会社悦計画室 桜井悦子 TEL: 045-681-3877 FAX: 045-681-2922
 〒231-0023 横浜市中区山下町25番地 インベリアルビル201号室

2月7日 製品開発の講習会の報告

森昇



倶楽部事業として作業所製品開発の講座を開講しました。当日は20名弱の作業所の方が見えましてお話しすることが出来ました。室津氏を想像して話す内容を決めておりましたが、なんと当日参加者は若くてびっくり、急遽シナリオを変更したが、ゼネレーションギャップながら講習会は進んでいった。何かを造る話でなく製品を深く考えて欲しいと考えテーマは5項目と2項目のまとめで話した。

1. 時流を知る 時代に於ける物の流れを知る。マーケットインの考え方
 2. 己を知る 資産の棚卸として人・物・器に分け現在の自分達作業所事を掘り下げる。
 3. マーケティングの考え方 人を知る人を動かす。
 4. マーケティング 5W1Hを中心に誰に売るかを検討
 5. 目的・目標管理 計画等の立案、問題点の描出
 6. 開発の具体的考え方 上記内容の確認
 7. まとめ 作業所連合のCI(コーポレートアイデンティティ)の確立
- 最後に応答の中で簡単販売の話、付加価値、特価、CS(顧客満足)全体的に私が早口だし、せっかちで聞きなれない言葉も多くて、理解されたか不安ですが作業所で作る製品から商品としてお客様に手渡す変化を感じて知って欲しかった。これが最初で最後でない、次回は具体的な製品作りについてまたやりたく考えています。あれだけ若いスタッフが多い中区の作業所皆で知恵出せば、きっと楽しい、新しい物が生まれる気がします。



コラボレーションフォーラム横浜2004

後藤修一

2004年12月4日～5日、協働推進会議実行委員会・横浜市の主催による『コラボレーションフォーラム横浜2004』が横浜市開港記念館にて2日間にわたって開催されました。

私は5日の「協働のパートナーを可能にするために」という分科会に横浜ジェントルタウン倶楽部からパネラーとして参加させて頂きました。私のテーマは「商店街、障がい者、ボランティアの協働による人にやさしいまちづくり」と題して、伊勢佐木モールにおける街づくりを事例としてご説明しました。他には外国人居住者の多い泉区のいちょう小学校の金子先生による「小学校、地域、ボランティアによる多文化共生社会への取り組み」や、WFP(国連世界食料計画)のボランティア支援を行っている



三代さんの「市民によるWFPへの支援活動の展開」、BankART1929の池田さんによる「NPOによる歴史的建造物を活用したアート活動の拠点運営」が発表されました。各々、全く異なった立場のパネラーによるパネルディスカッションでしたが、協働のパートナーを得て事業を成功に導くために、必要な最重要のファクターは常に意志ある人間であるということが再確認されました。

休憩後、いくつかのグループに分かれてワークショップが行われ、パネラーへの質問や参加者の意見交換を通して問題点を具体的に纏め、全体会に報告しました。学ぶことの多い有意義な1日でした。

会員紹介コーナー NO. 2 加藤 優未子 サモアール店主

横浜の相鉄ジョイナスに、当時は珍しかった紅茶専門店を出店して30年、馬車道に二店目の料理とケーキと多少の酒類も提供出来る『サロン・ド・テ・サモアール』を開店して21年。夫が始めた事業を夫の急逝の為に引き継いで20年、ようやく土地に馴染んで参りました。そんな中で7年程前に馬車道商店街協同組合に『関内駅周辺地区福祉のまちづくり協議会』に参加の依頼の話が来ました。その代表として出席したことが具体的に福祉の問題と関わるようになったきっかけでした。

最初の、街を巻き込んだイベントとして『福祉のアート展』の会場として何点かの作品を展示致しましたが出品者にもお客様にも大変喜ばれました。自分の置かれた立場で出来る事でお役に立てればと思っています。「バリアフリー」とか「人にやさしい街づくり」等言葉としての認識はありましたが実際その世界に入ってみると今まで見えなかったいろいろな事を学ぶ事が出来、またいろいろな問題が山積しているのも解りました。少しでもその解決に繋がるお手伝いが出来ればと願っております。

